



公益社団法人 日本観光振興協会  
JAPAN TRAVEL AND TOURISM ASSOCIATION

**NEWS RELEASE**



令和4年12月26日  
公益社団法人日本観光振興協会  
観光地域マネジメント:須藤・花井  
妙高市・妙高市教育委員会:  
観光商工課 観光交流グループ

## 自分たちが住む地域の魅力を知ろう！考えよう！ 新潟県妙高市にて「観光教育出前授業」を開催 ～市内3つの小学校が参加～

公益社団法人日本観光振興協会（会長 山西 健一郎）と新潟県妙高市（市長 城戸 陽二）では、2022年12月9日、妙高市において「観光教育出前授業」を開催しました。

当協会では、初等教育向けに、旅の意義・楽しさ・旅の効用・観光産業の重要性（経済波及効果）を通じて、国際理解・環境・職業観について教示するとともに、観光産業の認識度向上を目的とした観光教育推進事業を行っています。その事業の一環である今回の「出前授業」の趣旨に、妙高市が賛同いただき実施をしたものです。



妙高市内3つの小学校が観光学習の授業に参加



観光副読本を活用して授業を行う東京成徳大学  
特任教授 寺本潔氏

出前授業では、自らの地域の観光資源や産業に親しみ、考える機会を育み、今後の総合学習や社会科等のカリキュラムとしての活用機会を、地域や学校にも推進していくことを目的としています。

これまでの出前授業は、2019年3月に台東区立浅草中学校、同年9月に秩父市立吉田小学校にて開催しており、コロナ禍を経た3年ぶりの開催となりました。

授業には、妙高市内の3つの小学校（斐太北小学校6年生、新井南小学校5・6年生、妙高高原北小学校5・6年生）約40人の児童が参加、講師には東京成徳大学 特任教授の寺本 潔氏を招き、当協会が発行した観光副読本を活用しながら地域の観光資源を考えたり、地域を訪れる客層ごとのポジショニングマップを、児童に作ってもらうグループワークを行いました。

観光資源のワークでは、妙高市にある「施設」「イベント」「歴史」「生活文化」「食べもの」「自然」に分けた「6つの観光の花びら」について、自慢できるものや妙高市の宝などをグループで話し合い、書き出して発表しました。



「6つの観光の花びら」（副読本改訂版より抜粋）を活用して地域の魅力を考えるワーク

ポジショニングマップのワークでは、観光地に訪れる客層を「ファミリー」「女子大生3人組」「熟年夫婦」「ハネムナー」の4つに分け、それぞれがどのような層に位置するか（価格帯の高低、目的型観光か保養型滞在か）、およびその理由について、グループで議論しました。

参加した児童たちは熱心に授業に取り組んでおり、自分たちが住む地域の観光資源や魅力について知識を深める有意義な授業となりました。



妙高市の観光パンフレットを見ながら季節ごとの地域の楽しみ方を考えるワーク



観光地に訪れる客層ごとのポジショニングを考えて発表する児童

授業の後は、先生方や妙高市の観光商工課、教育委員会、新潟県観光協会、魚沼市観光協会、日本旅行新潟企画など、地域の関係者を交えて意見交換会を行いました。寺本氏からは、探求の学びを促す観光教育の魅力や妙高市の次世代に培いたい観光の学びについての説明や当日の授業の指導案の説明がありました。

意見交換では、「親や保護者が子供たちに地域の良さを見せて、教えてあげる機会も必要」「妙高市の学校教育の重点事項要素を、観光教育によって育むことができると感じた」「校内の教員にも紹介し少しでもこのような時間を取り入れていきたい」など、今後の観光教育の推進に向けた前向きな発言が交わされました。

### 観光副読本改訂版・教師用手引書のご案内



観光副読本「観光でまちを元気に！ 日本・ふるさと再発見」改訂版

<https://www.nihon-kankou.or.jp/home/topics/1644549836/>



送付申込はこちらから

<https://forms.gle/ZyU2D99foYsf1AQc6>



※副読本を教材として授業を行う際の「教師用手引書」もございます。

【問合せ先】 公益社団法人日本観光振興協会 観光地域マネジメント  
TEL：03-6435-8337